

熊本大学大学院法曹養成研究科  
平成27年度第1期募集 法律科目試験問題

## 刑事訴訟法

平成26年8月31日（日） 10:55～11:40

### 解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚、下書き用紙は1枚です。
3. 解答用紙には、熊本大学大学院法曹養成研究科の受験番号のみを記入し、氏名は記入しないで下さい。
4. 解答は横書きにして、2枚の解答用紙（裏面も使用）に収めて下さい。  
解答用紙の追加・交換はしません。
5. 解答にはボールペンまたは鉛筆を使用して下さい。
6. 問題の内容に関する質問には応じません。
7. 貸与した六法に書き込みをしてはいけません。
8. 試験終了後、問題用紙および下書き用紙は持ち帰って下さい。

【問題】以下の事例を読んで、問いに答えなさい。（配点：40点）

XはAに「金を出せ」と包丁を突きつけて脅したところ、Aが反撃に出たため、Xは何も奪わずに、包丁を捨てて逃走した。Aからの110番通報を受けて直ちに犯行現場に駆けつけた警察官Bは、周辺の探索を開始した。事件から約15分後、現場から東方30メートル離れた路上で、BはAから聴取した風態とよく似たXを発見し、職務質問を行った。Xはこれに素直に応じたが、犯行は否認した。そこに駆けつけたAが「犯人はこの男(X)に間違いはない」と供述したので、BはXを恐喝未遂の罪で現行犯逮捕（刑事訴訟法212条1項）した。

この現行犯逮捕の適法性について論じなさい。

以上